

# 実践記録

## 158

### シリーズ

## 「ノーバディズ・パーフェクト」

見附市葛巻公民館 総括主査 長谷川 裕恭

論文が苦手なので問答形式にさせていただきました。県内の皆様、ご一読いただければ幸いです(って、4年ほど前にも同じ書き出しをした気が…)。

### ——「ノーバディズ・パーフェクト」って？

「ノーバディズ・パーフェクト」(以下、NP)は「完璧な親もいなければ、完璧な子どももない」という考えがもとになった、カナダ生まれの子育て・親支援プログラムです。参加者は、少しの間お子さんと離れ、ホッとひと息つきながら、子どものことや暮らし、家族のことなどからテーマを出し合い、話し合っていきます。そのなかで、育児の悩みや不安を解消し、自信を持って楽しく子育てができるよう、ヒントを見つけ出すことがねらいです。

### ——事業のきっかけやその背景は？

見附市でNPを活用した子育てセミナーを始めたのが平成19年。当時、県内でいち早くNPに注目し、活動に取り入れていた「にいつ子育て支援センター・育ちの森」(新潟市)から、「NPファシリテーター」有資格者のスタッフを招き、以来3年間にわたり開催してきました。その間、県内でもNPの成果や有効性が知られるようになり、当市でも、昨年度には母子保健担当の保健師が個人的にNPファシリテーターの資格を取得しました。

### ——すると、昨年は取り組み方に変化が？

そうですね。過去3年間は、セミナーの内容や参加者の満足度には手応えを感じていたものの、終了後のフォローが課題でした。身近な地元でファシリテーターがいれば、その解消につながると考えてはいたんです。そこで、昨年秋のセミナーでは、資格を取得した保健師とそのお仲間のファシリテーターから二人で進行を担当してもらいました。さらに、子育て支援センターで活動する家庭児童相談員からも記録係として運営に参画してもらいました。

### わくわく子育て教室～ノーバディズ・パーフェクト

■日程(9月～10月の毎週水曜日、全6回)

第1回：はじめまして

(自己紹介、ルール決め、テーマ決め)

第2回：子どもの遊びと安全

第3回：子どもの叱り方・しつけ

第4回：子どもの生活の流れ～夫や家族との関係～

第5回：自分の時間の使い方

第6回：これからもよろしくね(自主サークルへ)

※時間は午前10時～12時、会場はいずれも見附市保健福祉センター。希望者には託児あり。



第1回の様子。初対面のカタさも、話し合いが始まると意外とあっさりほぐれていきました。全6回の出席率は、ほぼ100%。

### ——どんな成果が上がりましたか？

開催時間を従来の午後から午前に変更したこともプラスに作用し、参加申込みも比較的順調に集まりました。セミナーは終始なごやかな雰囲気が進み、また、話題が深刻でデリケートな部分に入り込んだときも、励ましの声かけや、自分の経験を踏まえたアドバイスが出るなど、お互いに支え合う様子が随所に見られました。特に昨年は、参加者同士の仲間意識が例年以上に強かったようで、終了後には、サークルとして自主的な集まりをもつことになったんです。中央公民館を定期的に利用し、それぞれお子さんも一緒に連れて情報交換をされています。

もう一つは、関係部署との連携・協力関係の大切さを再認識できたことですね。見附市では「子育てするなら見附！」のキャッチフレーズのもと、子育て支援を施策の柱の一つとして掲げています。同じ施策のもと、内容としては類似の取り組みを、それぞれの部署がバラバラに行っていたのでは、効率も悪いし、そもそも市民にわかりづらいですね。おまけに、公民館では「参加が集まらない」、子育て支援センターでは「仲間づくりにつながらない」、担当部署では「地域に広がらない」と悩んでいる。だったら、お互いが把握している人材や、持っているノウハウを提供し合って、一緒に活動してみましょうよ、ということなんです、そもそもの発想は。

### ——今後の課題とその対策は？

参加者の満足度からもう一歩踏み込んで、自主サークル化へと進むことができたわけですが、サークルとのかかわり方、支援のあり方が新たな課題ですね。定期的に活動の様子を把握するとともに、運営についての相談役を果たす必要があると思います。

また一方では、参加者の中から、NPに限らず、子育て支援を「する」側にまわってくれる人材を見つけ出していきたいですね。そのためには、今後もこうした取り組みを地道に行き、一つ一つ実績を積み重ねていかなきゃいけないと思っています。